

2023年

1月



ちばさぽ通信

Vol.53

いのちを育てる心が育つ



CONTENTS

- 事業&活動報告
 - 千葉市民活動フェスタ2022無事終了
- ちばさぽの風 Vol.53
- 登録団体活動紹介コーナー
- CatchUp 2023RDD&ウエルフェスタ
- ちばさぽからのお知らせ
 - マッチングカタログ掲載団体募集
 - 第3回ちばさぽ交流サロン開催
 - 運営協議会開催のお知らせ
 - 市民活動ステップアップ講座
 - ちばボランティア塾2期生募集

表紙の団体紹介

園生の森公園を育てる会

稲毛区にある園生の森公園で、動植物の調査、園内パトロール、自然観察会などの活動をしています。

「すきなときに、すきなひとが、すきなだけ」をモットーとしており、気軽に活動に参加できる団体です。

<https://www.facebook.com/sonnounomori>



編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo

〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



千葉市民活動フェスタ2022

今年、シン・フェスタ
未来の千葉が見えてきた

千葉市民活動フェスタ2022は、オンラインと、きぼーるアトリウムでの対面プログラムというハイブリッド開催。久々の対面開催に「同じ場で顔をあわせる意義」を実感した方も多かったのではないのでしょうか。

千葉市民活動フェスタ2022無事終了!!

■今年、シン・フェスタ 未来の千葉が見えてきた

千葉市民活動フェスタ2022は、オンラインと、きぼーるアトリウムでの対面プログラムというハイブリッド開催。久々の対面開催に「同じ場で顔をあわせる意義」を実感した方も多かったのではないのでしょうか。

今回はオンラインプログラムに40団体、きぼーるには18団体が参加しました。

■オンラインプログラム

【団体紹介】 期間中、ネット上の特設サイトに各団体の紹介ページを開設。活動内容等の紹介をし、団体のサイトにもリンクできるようにしました。

【ちばさぼTV】 19日のきぼーるの様子を動画撮影して配信。これには今年初参加の、まだ10代の実行委員が撮影や編集に大活躍してくれました。

【1分シアター】 今年の新企画(シン企画)の一つは「1分シアター」。団体紹介ページとは別に、各団体が自由に作った1分ほどの動画を特設サイトで紹介する企画です。だれもが動画を作れるよう、マニュアル作り、ワークショップの開催と、実行委員会が大いに力を入れてくれました。

■対面プログラム

【団体ブース】 対面会場は間隔を充分にとってブースを設け、相談や体験、物販などを展開。オープニングには市長も来場し、あいさつの後はご自身のスマホも取り出しながら、各団体のブースを熱心に回っておられました。

【交流ひろば】 一般の方にもっと「フェスタ」に来て頂こうと、「だれでも参加できる抽選会」を実施しました。初の試みでしたが、各団体から多彩な賞品のご協力を頂き、大いに盛り上がりました。改めて御礼申し上げます。

■未来が見えてきた?

ここ3年は毎回、形式を変えての開催となりました。安心・安全に配慮しながら、いかに交流の場を作っていくかが課題です。これまでにない形が求められる中、若い委員の参加は心強い限りです。ベテラン勢も頭を柔軟に、新しいフェスタの形を考えていきましょう。



ミニコラム ちばさぼの風 vol.53

市民活動の新しい形 労働者協同組合

■働き方が広がる

令和4年10月1日に「労働者協同組合法」が施行されました。同法の第1条には以下のように書かれています。

「…多様な就労の機会を創出することを促進するとともに、当該組織を通じて地域における多様な需要に応じた事業が行われることを促進し、もって持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする」

詳しく説明しようとするれば何千字も必要ですが、ザックリ表現すると「日本での働き方の選択肢が増える」ということです。これまでは、「志を同じくする人が、資金を出し合って、話し合いながら活動を進める」という形について、該当する法律がありませんでした。小さな組織であれば問題はありますが、大きな仕事に取り組む場合「法人格」を待たないと契約も交わせず、団体として資産を持つこともできません。「お金を出す人が意見も出し合いながら働き、報酬を得る」という形を、法律で保障したのが労働者協同組合といってもよいでしょうか。

■出資・経営・労働

労働者協同組合は、定められた出資をすれば組合に加入でき、脱退も自由です。出資金の額は、組合ごとに決めことができ、経営に際しては、出資口数にかかわらず、一人一票の発言権があります。

労働者派遣事業以外であれば何の分野の事業もできるので、子育て支援、介護、環境保全など、これまでボランティアに頼ることの多かった地域課題の解決に、多くの人が「仕事」として関わられるようになります。また、法人格を持つことにより、働いた人はその経験を職歴として履歴書に書くことができるので、副業や兼業でもキャリア形成が可能になります。経験豊富な高齢者の活躍の場としても、期待ができそうです。

■働き甲斐につながるか

幅広い人が参加でき、設立の要件も従来の法人に比べて容易なので、労働者協同組合は後継者問題の解決にも効果が期待されます。例えば、後継者がいない中小零細企業の場合、働いていた人たちが出資して労働者協同組合を作り、事業を継承するような例も出てくるでしょう。

働く時間も相談して決めるので、介護や子育てとの両立、副業として経験を積むなど、これまで困難だった働き方が可能になります。運営面で、合意形成に時間がかかる、出資・運営(経営)・労働が一体のため、結果的に労働条件が悪くなるといった可能性も考えられますが、働き方の多様性という点は大いに期待が持てます。現在活動している企業組合やNPO法人から、労働者協同組合に円滑に組織変更を行うための制度も設けられており、この数年の推移が注目されます。

登録団体活動紹介コーナー

千葉里山自転車旅友の会

活動エリア▶千葉市全域と隣接市域
所在地▶千葉市若葉区
連絡先▶090-9399-7263 e.watanabe2008@gmail.com
担当者氏名▶渡辺 榮一

千葉市東部の田園地帯を中心に、交通量の少ない道路を通り、風景を楽しむゆとりのあるサイクリングを行っています。また、千葉市全域でサイクリングを楽しめるようにルートの開発に取り組んでいます。経験・体力に応じて、ルートの一部を走る、または全体を通して走ることで、どなたでもサイクリングを楽しむことができます。あなたもこのような活動と一緒にしてみませんか。



轟混声合唱団 (とどろきこんせいがっしょうだん)

活動エリア▶稲毛区轟公民館を練習拠点としています。
所在地▶千葉市
連絡先▶090-8032-7906 torchtaku2@outlook.jp
担当者氏名▶遠地 卓二

合唱を通して人生を充実させ、若さと健康を維持していこうと楽しく歌っているグループです。稲毛区の轟公民館を拠点として、毎週月曜午後練習しております。定番の合唱組曲(現在は「富山に伝わる三つの民謡」を中心に練習中です。)を始めとし、クラシック、ポピュラー、童謡と、幅広いジャンルに取り組んでおります。仲間とともに、歌う楽しさ、喜びを歌声にのせて表現してみませんか。



元気お届け隊 YAMASHOW

活動エリア▶日本語圏・英語圏
所在地▶千葉市
連絡先▶080-5182-5907 yyyyyyyyy1@ezweb.ne.jp
担当者氏名▶山地 まさのり

コロナの感染防止を実践しつつ経済を回していく新しい社会が見えてきました。萎えた体に元気のエネルギーを楽しく補給して健やかな生活を築きましょう。代表の山地まさのりは東大医・保健卒の健康運動指導士。フレイル提唱の東大名誉教授大内先生の健康長寿のお考えを実践しています。ご相談に応じ、健康づくりノウハウをお届けします。まずは080-5182-5907にご一報ください。



千葉終活支援ネット

活動エリア▶千葉市内を中心に千葉県全域
所在地▶千葉市花見川区西小中台2番37棟104号
連絡先▶090-8720-1513 j.kimizuka.office@gmail.com
担当者氏名▶君塚 甚一

100年人生と超高齢社会が到来し、いかに充実した生きがいのある人生をいつまでも過ごせるか、認知症やおひとり様の増加による老後の心配など。その終活のテーマを多面的に企画し、多職種の講師連携で“認知症と財産管理・相続・身元保証・お片付け・老後の住まい・在宅医療”など人生で避けられない問題をとりあげ、公民館・カフェ等で定期的に開催しています。



CatchUp

～“活動部会”の取組紹介～

「2023RDD&ウエルフェスタ」開催のお知らせ

センターには、複数の登録団体など異なる主体が連携し、共通の目的に向かって活動する“活動部会”という仕組みがあり、当センターでは、広報面の支援などを行っています。今回、活動部会の一つである「ウエルフェスタ実行委員会」の取組を紹介します。

「ウエルフェスタ実行委員会」は、難病や病気、障害、認知症、生活に関わる市民活動団体などを紹介し、市民に関心を持ってもらうことで、当事者や活動への理解を促進し、支援につなげていくことを目的に活動しており、2017年から年に一回のイベント開催を続けています。過去2年はオンライン方式のみでの開催でしたが、今年度は、対面方式でイベントを開催することが決定しました。約20の参加団体による展示・体験・相談の出展の他、認知症サポーター養成講座も企画されています。

開催概要は右記のとおりですが、内容等詳しくは、ホームページを参照ください。

《開催概要》

- 名称▶2023RDD&ウエルフェスタ
- 日時▶2023年2月12日(日) 10:00～16:00
- 会場▶美浜保健福祉センター 2F・4F
- 対象▶子どもから大人まで どなたでも
- 参加費▶無料



《お問合せ》

TEL 090-9966-5683 (ナガムネさん)
ホームページ:
<https://www.kaiteki-chiba.jp/kagayakicreate/>



ちばさぼからのお知らせ

■【登録団体対象】

「市民活動マッチングカタログ」掲載団体募集

ボランティアや新会員を積極的に受け入れている団体を紹介する冊子「市民活動マッチングカタログ2023」の作成にあたり、掲載団体を募集しています。対象はセンターの登録団体で、締切は「1月19日(木)」です。詳しくは募集チラシをご覧ください、お申し込みください。(チラシはホームページからダウンロードできる他、ご連絡をいただければメールでお送りします。) お申込みいただいた団体には、個別に原稿作成についての詳しいご案内をさしあげます。多くの団体からのエントリーをお待ちしています！



■ 第3回ちばさぼ交流サロン開催

今回の交流サロンでは、千葉市社会福祉協議会総務企画課の方をお招きして、千葉市社協としての活動の全貌について語っていただきます。その後の質疑応答や意見交換の中で、今後の市民活動や地域活動のヒントを見つけられればと考えております。サロン形式の交流会ですので、興味がある方はお気軽にご参加ください。

日時▶2023年1月24日(火) 16:30~18:30
会場▶千葉市民活動支援センター会議室
定員▶20名程度(お申し込み先着順) 参加費▶無料

■運営協議会開催のお知らせ

当センターを有益な施設とし、市民活動を活性化させるため、施設や事業の運営に関する助言や提案を頂く場として運営協議会を実施しています。テーマを分けて下記の日程で今後3回開催しますので、是非意見や提案を持ち寄りご参加ください。

日時	テーマ
1月26日(木) 19:00~20:00	千葉市民活動フェスタ
2月9日(木) 19:00~20:00	ちばさぼの事業
3月23日(木) 19:00~20:00	施設と設備

会場▶千葉市民活動支援センター会議室
(状況によりオンラインになる場合がございます)
定員▶10名程度(お申し込み先着順) 参加費▶無料

■市民活動ステップアップ講座 「情報の共有とSNSの活用」

情報の共有は、ボランティア活動にも市民活動や地域活動でも非常に重要な要素です。その情報の共有や団体・個人の情報発信については、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)が多用されています。種類も多く、様々な使い方があるSNSについて、優しく説明する講座です。どうぞお気軽にお申し込みください。



日時▶2023年3月2日(木) 19:00~20:30
会場▶千葉市民活動支援センター会議室(予定)
講師▶吉川亮さん(株式会社プロシードジャパン代表取締役)
定員▶20名程度(お申し込み先着順) 参加費▶無料

■ちばボランティア塾2期生募集!



「ちばボランティア塾」とは、現在ボランティアをしている方、これからボランティアをしてみたいと思っている方に向けて基礎的な事項を学んでいただく講座です。2期は土曜日午前中に実施する講座で、5月に開講し8月まで計6回で修了するカリキュラムです。ボランティアの基礎から外国人や障害者との接し方など、一度は受けてほしい内容で構成されています。あなたのボランティアデビューをお手伝いするこの講座に是非ご参加ください。

日程▶2023年5月20日(土)から8月5日(土)
会場▶千葉市民活動支援センター会議室
定員▶25名(お申し込み先着順) 参加費▶無料



※中学卒業以上の方ならどなたでも参加できます。

第2期日程と講座内容【2023年度実施】

実施時間は10時から11時30分

日時	内容
第1回: 5月20日(土)	オリエンテーション・ボランティアの基礎
第2回: 6月10日(土)	外国人とのコミュニケーション
第3回: 7月1日(土)	障害者とのコミュニケーション
第4回: 7月15日(土)	情報の収集方法と千葉市情報
第5回: 7月29日(土)	情報の共有とSNSの活用
第6回: 8月5日(土)	ボランティア受入団体と情報入手方法

○お申し込み方法(すべての事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)
- ④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)



SDGsはホントに繋がっている

SDGsのゲームを体験しました。小さな街をいろいろな立場から何とか盛り上げるとい課題です。それぞれのプレイヤーが最初は単独で「勝ちに行く」のですが、途中から「連帯した方が地域は良くなる」と気付いて、「○○できる人はいませんか」「予算がないので助成してください」と声が飛び交いまし

た。しかし実際は目先の解決では成功しません。経済ポイントを伸ばせば環境ポイントが下がるなど、街を育てる難しさがジワリと浸み込んできます。情報の共有、連携の必要、全体視野の重要性、バランスの難しさが実感できるかなり面白い時間になりました。

先月はフェアトレードの子供向けゲームも体験しましたが、「講義」よりこんなゲームをたくさん紹介していく方が、PRには効果がありそうだなと実感しています。

編集後記

■千葉から富士山、よく見えますよ!少し高いところから西の方角を見てください。日暮れ時が狙い目です。(か) ■卯の文字には新しい挑戦に適するの意味もあるとか、さてどっちを向いて跳ぶ?(や) ■さー今年は何をしようかな?まずは健康で笑顔で(な) ■所用で雪国へと帰省。雪掻きに追われ、千葉のすごしやすさを感じます。2023年穏やかな一年でありますように(り) ■フェスタの「対面プログラム」は、小規模でしたが今に合った「丁度良い」形で開催できたと思います。皆さまお疲れさまでした!(よ) ■耳当てを愛用しているのですが、2シーズン続けて紛失しています。この冬は失くさないようにしたいです。(は) ■コロナ禍の上にも三年、今年はどういかな(笑)(ふ) ■『もふ&ぴょん』: 歩幅は自分らしく、時には飛び跳ねて、新しい景色を見たい、卯年のスタートです。(ひ)